

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	CB230	科目名	ビジネス英語	担当者名	山内 リチャードソン 澄子(実務家教員)
授業の概要	観光客を含めた人の往来のボーダレス化やビジネスのグローバル化を受け、県内でもビジネスの場面で英語を使うことのできる人材へのニーズがますます高まっている。本科目では基本的なビジネス場面における英語表現を学ぶと共に、特にインバウンドビジネスで活躍できる人材の育成を意識して、青森県の観光資源について現場研修とグループワークとを併せて学ぶ。				
科目の到達目標	ビジネス英語の基礎表現を覚え、それらを表現できるようになること。 青森県の観光資源について、自らの考えを英語で表現・発信できるようになること。				
DPの観点	①コミュニケーション能力 ③主体性				
授業時間外学修(予習・復習)	授業内容について、該当するテキストの箇所を予習・復習を30分程度行う。				
フィードバックの方法	課題提出及び添削をメールで行う。				
単位認定の要件	課題の提出、グループワークへの参加、授業への積極的な参加				
評価の方法・割合(%)	単位認定試験(レポート、発表など)70%、受講態度 30%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			・挨拶や簡単な質問に使う表現	①	・ガイダンス&講義:Unit 1&2
2			・電話対応で使う表現	①	・講義:Unit3&4
3			・状況を説明するための表現	①	・講義:Unit 5
4			・約束を取り付けるための表現	①	・講義:Unit 6
5			・提案をする時の表現	①	・講義:Unit 7
6			・クルーズ船寄港時の通訳案内など	①③	・現場研修
7			・クルーズ船寄港時の通訳案内など	①③	・現場研修
8			・招待をする時に使う表現	①	・講義:Unit 8
9			・日常会話で使う表現	①	・講義:Unit 9
10			・場所を伝える表現	①	・講義:Unit10・グループワーク:青森について英語で説明
11			・道案内の表現	①	・講義:Unit11・グループワーク:青森について英語で説明
12			・使用方法を説明する表現	①	・講義:Unit12・グループワーク:青森について英語で説明
13			・宿泊施設で使う表現	①	・講義:Unit10・グループワーク:青森について英語で説明
14			・物販店で使う表現	①	・講義:Unit13・グループワーク:青森について英語で説明
15			・飲食店で使う表現	①	・講義:Unit10・グループワーク:プレゼンテーション
期末試験			試験終了後、授業時間内に振り返り学習を行う。		

使用テキスト	First Steps to Office English
参考文献 参考URL	富士箱根ゲストハウスの外国人宿泊客はなぜリピーターになるのか? 高橋正美(著)
備考	本授業は、インバウンド観光コンサルティングの実務経験を生かした授業である。

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	---

授業の自己評価	
---------	--